

2025年7月28日

各位



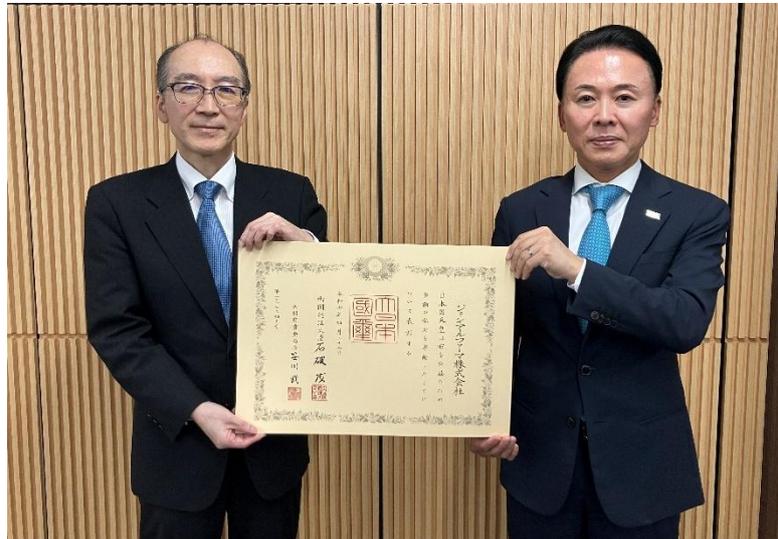
会社名 JCRファーマ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信
(コード番号 4552 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員経営戦略本部長 伊藤 洋
E-mail : ir-info@jp.jcrpharm.com

医療型短期入所施設「もみじの家」への支援活動に対し紺綬褒章を受章

JCRファーマ株式会社（代表取締役会長兼社長：芦田 信）はこの度、国立研究開発法人 国立成育医療研究センターが運営する医療的ケア児のための医療型短期入所施設「もみじの家」への支援活動について、2023年に続き2度目となる紺綬褒章を受章いたしました。

紺綬褒章は公益のため私財を寄付し、その功績が顕著な個人または法人・団体に天皇陛下より授与されるものです。集まった寄付金は災害時の避難ルート確保のためでもあるウッドデッキ増設に活用されるなど、施設のより良い運営、環境整備に寄与しています。

本日、国立成育医療研究センター 理事 北澤 潤氏から当社へ褒状の伝達が行われました。



左から国立成育医療研究センター 理事 北澤 潤氏、当社 取締役専務執行役員 芦田 透

今回の受章にあたり、国立成育医療研究センター 理事 北澤 潤氏は次のように述べています。

「『もみじの家』に対する長年のご支援、誠にありがとうございます。医療的ケアを必要とするお子さんとそのご家族が安心して過ごすことができる場を継続的に提供できていることを大変嬉しく思っております。難病の子どものための『第二の家』を目指す取り組みは、『もみじの家』をはじめ少しずつ広がっています。在宅ケアが必要な重い病気があってもその人らしく生きられる支援を私たちは今後も続けてまいります。」

また、当社の取締役 専務執行役員 芦田 透は次のように述べています。

「この度 2 度目となる紺綬褒章を賜り、光栄に思います。当社は、希少疾病に取り組む企業として、患者の皆さんやそのご家族に寄り添い、暮らしやすい社会の実現に向けて努めてきました。『もみじの家』のように、重い病気を抱えるお子さんとご家族を支援する、医療と福祉が融合した施設は重要と考えています。このような活動の輪が広がっていくことを心から願っています。」

「もみじの家」が発足した 2014 年より、当社は継続的な支援を行っています。今後もこの取り組みを大切にし、患者数が少ない超希少疾病であっても「JCR だからこそできること」に積極的に取り組むことで、誰ひとり取り残さない社会の実現を目指します。

医療的ケア児について

医学の進歩を背景として、NICU（新生児集中治療室）などに長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろうなどを使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。

医療型短期入所施設「もみじの家」について

2016 年 4 月に国立成育医療研究センター（東京都世田谷区）の敷地内に、日本で初めて設立された医療的ケア児のための短期入所施設。本施設では在宅で常時医療ケアが必要な子どもに 24 時間の医療ケアが提供され、重い病気や障害をもつ子どもとご家族が、自宅のように安心して数日間過ごせる"第二のわが家"のような存在として、年間約 700 名の方々から利用されている。



もみじの家

参考：もみじの家-国立成育医療研究センターの医療型短期入所施設 ホームページ

<https://momiji.ncchd.go.jp/>

以 上